



KAMIGO

～since2015～

上郷中だより 2-8号
令和2年11月30日
横浜市立上郷中学校
横浜市栄区犬山町6-2
電話(892)2478

6ヶ月が過ぎて

副校長 伊藤 純子

街路樹の紅葉が色鮮やかになり、冬の気配を感じるようになってきました。コロナ禍の段階的な教育活動の再開から始まった学校生活も6ヶ月が過ぎようとしています。例年で考えると学校が始まってからの6ヶ月は9月です。2ヶ月の遅れを取り戻すという意識よりも、「当たり前と思っていた学校生活を取り戻したい。」「行事を何とか実施したい。」という気持ちが強い日々であったと感じています。今から思えば第2波と言われている8月・9月は、今回実施された2つの行事、延期になった体育祭と目前に迫った文化祭、合唱祭をどうしたら実施できるのか悩み続けた日々でした。これまでとは違う状況の中でできることは何か？3密を避けることを厳守しながら、安全に実施するためにはどうしたらよいのか？全てが、そして誰もが初めての状況の中で、委員会の生徒を中心に生徒も職員も懸命に模索し方向性を決め実施の準備に入りました。「換気」「消毒」「ソーシャルディスタンス」「アマビエ」はまるで合い言葉のようでした。10月の校内は、合唱練習の生徒の歌声と大縄の回数の掲示物等々、マスクを付けて距離をあけて歌っている姿、距離をあけて体育祭の団体競技の練習をしていること以外は今までと変わりのない中学校の姿とさえ感じました。そんな生徒の願いが叶ったのか、10月の最終週は天気にも恵まれた正に行事日和でした。生徒も職員も合唱祭の曲が自由曲だけになっても、体育祭のプログラムが午前中のみにも縮小されても学級が、学年が、学校が一体となって取り組む行事そのものが大切なだと教えられました。また、予定通りに実施はできなくても前向きに取り組んだ校外学習の事前学習やキャリア教育の調べ学習の展示、委員会や部活動の掲示発表は日常の学校生活の中での成果であったと思います。文化祭の展示は保護者の皆さま、地域の方々に参観していただく機会を設けることができましたが、合唱祭と体育祭は参観していただけなくて本当に残念でした。生徒は実施できることに感謝しながら元気に今出せる力を出し切りました。勝敗だけではなく、数値では表せないパワーや心の安らぎを感じることができた行事であったと思います。グラウンドでの文化祭閉会式や体育祭の予行練習においては上郷小学校運動会の練習時程を調整していただいたり、文化祭展示の保護者、地域の受付、誘導をPTA役員の方にお手伝いいただいたり、多くの方にご協力をいただいたりして実施することができました。ありがとうございました。

さて、11月に入ると10月までの曇りが一転し、学習の取組に意識が向いています。特に3年生にとっては、進路情報を得ることからのスタートで面談の時間以外でも担任と相談する姿も多くなってきました。進学希望の生徒にとっては、志望校の最終検討に向けて成績も重要になります。その重要な時期と新型コロナウイルス感染の予防もあり、不安は絶えない状況ですが今できることをしっかりと取り組む姿勢はどのような状況下であっても同じです。まずは健康第一です。なんとなくコロナ対策に慣れてきているのではなく、今一度緊急事態宣言の時の緊張感と対応の重要性を思い出していくことが学校内外で求められていると感じます。

「マスクの着用、手洗い、うがい、消毒、換気、3密を避ける。」みんなで取り組みましょう。



文化祭『Get things done』

文化祭実行委員長 竹内 渉

今年度の文化祭は、各教科や行事、部活、委員会などの展示発表や、ビデオ放送で行われた開会式、体育館での合唱コンクール、校庭での閉会式と、盛りだくさんの内容で行われました。

開会式では、キャップアートモニュメントの披露や、国際平和スピーチ、文化祭委員による劇も行われ、文化祭のオープニングに相応しい式となりました。

合唱コンクールは、クラス間の交流練習がなかったり、他学年の発表を聞くことができなかったりと、例年とは違った形ではありましたが、大きなトラブルもなく実施することができました。本番を迎えるまでに、様々なことを乗り越えて練習を積み重ねた様子が伝わり、思い出深い行事になりました。今年度は、6組の合唱を全学年で行いました。合唱曲「時の環」に込められた歌詞の意味がしっかりと伝わってくる元気で優しい歌声は、会場に暖かい空気を作り出しました。

閉会式は、吹奏楽部によるコンサートや結果発表が行われました。吹奏楽部は歌あり、踊りありのヒット曲メドレーや、学園天国で学校を大いに盛り上げました。堂々と全校生徒の前で演奏している姿はとても清々しく、カッコよかったです。

コロナ禍の中、年度当初から「今年の文化祭はどうなるのだろう」と、生徒や保護者の方のみならず、我々教職員も簡単には先が見えない状態が続きました。生徒から、『今年の文化祭、やるんだよね?』と聞かれるたびに胸が痛く、『まだわからないな』と言うしかない状況にもどかしさがつりました。しかし、「上郷中の生徒のために何かできることはないか、どうにかして文化祭ができないか」と多くの職員が動きました。周りの学校の取り組みを聞いたり、密にならないような工夫をしたり、PTA役員の皆さまにもお手伝いをしていただき、何とか文化祭の開催に繋がりました。もちろん、全校生徒の皆さんの1人1人の自覚と協力もあってのものです。

今年開催することができたこと、それ自体に大きな意味があるはずです。ぜひ生徒の皆さんは、今年の文化祭で学んだことを大切に、これからの生活に役立ててください。心から、今年の文化祭が行われてよかったと思っています。関わったすべての方々の協力に感謝します。

合唱コンクール結果	最優秀賞	優秀賞
1学年	1組「笑顔を忘れてしまった君に」	3組「未来へのステップ」
2学年	2組「時の旅人」	5組「野生の馬」
3学年	3組「はじまり」	4組「In Terra Pax」



体育祭『一心不乱 ～限界を超えたその先へ～』

体育祭実行委員長 赤澤 恵美子

今年度の体育祭は、昨年度までとは違う形式のスタートとなりました。開会式は、応援席に座った形で始まり、開会宣言の後は体育祭委員、生徒会、吹奏楽部によるオープニングからスタートしました。入退場は今年度版に変化したものの、各種目は長距離以外、予定通り行われました。学年種目の内容や全体種目の形態も変化しましたが、それまでの練習や確認で協力してもらったおかげで無事進めることができました。今まで以上にそれぞれが自分の役割を自覚して動くことが必要だったように感じます。生徒もすべての種目に一生懸命参加し、一人ひとりがとても輝いて見えました。文化祭に引き続いての行事、いつもとは進行が違う体育祭、様々な変更や確認・・・生徒も心や体の準備が大変だったと思います。その中で、活気ある活動はもちろん、委員会活動、係活動、クラスでの役割と本当によく頑張ってくれたと思います。今後の活動に活かしてもらえたらと思います。ご理解・ご協力いただき、ありがとうございました。



花壇の花植え

保健美化委員会担当 赤澤 恵美子

夏の花が終わり、保健美化委員会とボランティアの方とで、これから春まで育てていく花の苗を植えました。パンジー、ビオラ、デイジー、金魚草、それからチューリップの球根。まだまだ株は小さく、チューリップは地中に眠っていますが、卒業式頃には素敵な花壇になり、皆さんの目を楽しませてくれることでしょう。



福祉委員会より

福祉委員会担当 藤井 正人

福祉委員会では、例年ペットボトルキャップの回収を行い、集めたキャップをリサイクル業者に引き渡し、その売却益を寄付して、世界の子どものワクチン接種を支援する運動を行ってまいりました。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、キャップ回収は行いません。これまでのご協力、ありがとうございました。

今後は、12月17(木)・18日(金)に校内でのユニセフ募金の活動を予定しています。みなさんのご協力よろしくお願いいたします。



お弁当の注文について

上郷中のお弁当注文は、事前注文の「ハマ弁」と当日現金注文の「花弁当」で対応しています。11月から当日現金注文の業者が、「花弁当」に変わりました。注文の仕方はこれまでと変わらず、自分で用意した袋に注文票と代金を入れ、1時間目が始まる前(8:55)までに職員室前のポストに入れます。大きく変わった点は、食べ終わった容器と残飯は、各自で持ち帰ることです。ごみは、ご家庭で処理してください。よろしくお願いいたします。

スクールカウンセラー相談予定日

石井孝子先生の来校日をお知らせします。相談を希望される場合は、事前に連絡をお願いします。不明な点等ございましたら、生徒指導専任教諭 木村 までご連絡ください。

上郷中学校電話番号 892-2478

相談場所： 心の相談室・教育相談室

相談日： 12月4日(金)、11日(金)、18日(金)



来月以降の主な予定

12月 4日(金) 7日(月)~9日(水)
3者面談
7日(月) 栄区個別支援学級交流会
10日(木) 生徒会役員選挙
14日(月) 生徒朝会(役員認証式)
24日(木) 2学期終業式

12月25日(金) 土曜参観振替休日
12月28日(月) 1月4日(月) 5日(火)
学校閉庁日
1月6日(水) 3学期始業式
6日(水)~8日(金)
教育相談